

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	指定管理者	高島町
所在地	山形県東置賜郡高島町安久津2117番地	県担当課	観光文化スポーツ部文化財活用課
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日	(電話番号)	(023-630-2880)
検証期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

① 管理・運営業務の履行状況	<p>仕様書及び事業計画書の内容を遵守し、達成している。</p> <p>●普及啓発活動</p> <p>①県内市町村の教育機関に当館の各種事業案内を送付し、情報提供に努めた。また、展覧会等は全国の関連機関に情報提供を行うと共にホームページ上でも随時情報を提供した。</p> <p>②各種体験学習や講座、研修会を開催。令和3年度も新型コロナの感染拡大防止のためのできうる限りの感染防止策を講じて、参加者の完全予約制で開催した。しかし、県内でもまん延防止重点措置が執られた自治体もあり、当初予定していた事業を期間短縮したり中止とせざるを得なかった事業も年間を通じて数件あった。講座や講演会は昨年に続き機一つに一人とし、各回とも20人に制限して開催せざるを得なかった。この結果、入館者数は、昨年度よりは回復したものの、コロナ前の50%程度にとどまっている。</p> <p>●施設・設備等の管理</p> <p>点検・修繕を適切に行うとともに、これまで同様節電に取り組んだ。また、長年の課題であった屋根の修繕が行われ、雨漏りの危険が解消された。</p> <p>●資料の収集、保管及び展示に関する業務</p> <p>①特別テーマ展「小国町の考古学」、企画展「山形県の近世城郭と出土品」を開催した。展示遺跡の調査成果をパネルで展示するなど、わかりやすい展示を心がけ、今年も展示解説動画をネット配信した。また、展示図録も刊行した。</p> <p>②当館の長年の課題であった収蔵品台帳の整備を継続し、これまでに、南陽市、米沢市、高島町から出土した収蔵品の台帳が完成した。また、日常的に温湿度の記録を行い、除湿器やサーキュレーターを活用し、保管環境の改善に努めた。</p>	評価	<p>＜評価の理由＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書や事業計画書に沿って、適切に管理・運営業務が履行されている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、県内でもまん延防止等重点措置が執られた中、感染防止対策を講じながら各種自主事業が企画・実施されており、令和2年度と比較して入館者数も回復傾向にある。 ・収蔵庫の日常の温湿度記録の実施や、長年の課題であった収蔵品台帳の整備を着実に進めるなど、適切な資料保管に努めている。 ・解説動画の配信など、新たな手法を取り入れながら利便性向上に努めている。 ・経費節減・節電に努め、環境に配慮した管理・運営がなされている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<p>●開館30年を迎え、設備等も徐々に不調をきたす箇所が増えている。空調設備はここ数年、不調を来してきたが、令和3年度に設計委託がなされ、令和4年度に更新が計画されている。その他の設備についても、今後計画的な修理・修繕・機器の交換が必要である。</p>	<p>＜課題等の原因分析＞</p> <p>開館から30年が経過し、施設の老朽化や経年劣化による設備の不具合が顕在化してきている。また、館内設備機器等について定期的な設備更新周期を迎えている。</p>	
課題、問題点への今後の対応	<p>・日常からの設備の定期的な点検に努め、利用者の安全と展示・保管資料の維持管理を第一に考えた運営を行う。</p> <p>・設備更新・修繕については、策定した個別施設計画に基づき、屋根改修及び空調設備更新工事に着手している。今後も優先度を考慮しながら計画的な修繕に努めていくとともに、喫緊で修繕を要する箇所が発生した場合には、県と指定管理者において協議し、必要な対策を講じていく。</p>		

2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及びその対応状況	<p>●館内にアンケートボックスを設置し、来館者の意見を聞いている。入館者から企画展の解説を配信しているのだから、館内にWifi環境を整備して欲しいという要望があった。できれば、令和4年度中の対応を検討したい。</p>	評価	<p>＜評価の理由＞</p> <p>アンケート調査の実施等により、利用者の要望・意見の把握に努め、利用環境の改善に活かしている。</p>
意見・要望等への今後の対応	<p>・今後も来館者に対するアンケートを実施し、利用者の意見・ニーズの把握に努める。</p> <p>・把握したニーズについては、可能なことから施設の管理運営に反映していく。</p>		

3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	<p>●今年度の各種体験学習や講座も参加人数の制限が続き、希望者の皆様には、大変な御迷惑をおかけすることとなった。また、人数制限があるため、参加者負担での共催事業が暗礁に乗り上げているものもある。館外でできる町内及び近隣市町の学校や社会教育施設での体験を含む出前講座も積極的に対応することを続けたい。コロナ禍で増加した県内小学校の来館も増えているが、その学区内の遺跡紹介など、適切な資料を作って対応していきたい。</p>	評価	<p>＜評価の理由＞</p> <p>コロナ禍における修学旅行の増加に対し、各校毎に資料を作成する等、きめ細かなサービスを行い、好評を得ている。また、各種関係施設と連携しながら、幅広い世代が楽しめる自主事業を積極的に展開し、サービス向上に努めている。</p>
② 経費の節減	<p>●これまでどおり、日頃から省エネ活動に努め、来館者がいないときは照明を消灯し、来館者が見込めない冬期間は暖房を切って、光熱費を削減した。また、裏紙の再利用や両面印刷で経費削減を行った。</p>	<p>評価</p>	<p>＜評価の理由＞</p> <p>限られた経費の中で、これまでの施設運営管理のノウハウを活かし、経費の節減に努めている。</p>
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<p>●コロナ禍の中であるが「うきたむ考古の会」の協力を得て実施している講座や研修会も、ほぼ満員の参加者を確保できている。また、当館が所在する歴史公園の「歴史公園管理組合」や高島町観光協会と連携して、地域全体の活性化を目指した。</p>	<p>評価</p>	<p>＜評価の理由＞</p> <p>歴史公園周辺施設が一体となったライトアップ事業の開催など、近隣の町施設・関係団体と連携しながら地域活性化に取り組んでいる。</p>

総合的な評価	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少はあるものの、包括協定書、年度協定書、仕様書に基づき施設の適切な管理運営が行われている。</p> <p>・自主事業の充実を図ることで、より魅力的な施設を目指した運営に努めており、入館者・リピーターの獲得に繋がっている。</p> <p>・引き続き関係団体との連携を図りながら、更なる施設利用促進や地域活性化に繋げていきたい。</p>
--------	---

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。